
<三重県> (種別：学校) 三重県立松阪あゆみ特別支援学校

取組概要

当該校は、小学部13学級、中学部12学級、高等部13学級からなる平成30年度に開校した7年目の特別支援学校。教育目標を「自立と共生～地域で豊かに生きる子どもを育てます～」とし、発達段階に応じた学部の目標にもとづき、将来の社会生活を見据えた指導・支援を行っている。

1. インターンシップにおける地域企業との連携

高等部では、3年間で複数回の現場実習・就労体験を実施するとともに、「社会自立コース」の1年生は、地域の企業へ訪問して行う就労体験を校時に位置付け、「企業内就労体験学習（デュアルシステム）」として、年8日間実施している。

2. 校内カフェ「CAFE TOKOTOKO」の運営

「社会自立コース」の生徒は、全員が、月1回程度、校内カフェ「CAFE TOKOTOKO（カフェ トコトコ）」において、障がいの状況や発達段階に応じて、接客や新メニューの考案等、運営に関わっている。校内カフェの取組は、本県の県立特別支援学校では、唯一の取組であり、先進的に、生徒が、将来自立し、地域で豊かに生きていくための資質・能力の向上を図っている。

また、校内カフェで働く高等部の生徒の姿は、小学部や中学部の児童生徒にとって、憧れや大きな目標であり、当該校のキャリア教育の取組の柱となっている。

3. 地域交流を用いた子どもたちの関係づくり

当該校が所在する松阪市の「副籍」制度を積極的に活用し、居住する地域の児童生徒と交流を行うことで、将来、児童生徒が安心して生活したり、活動したりするために、子どもたちの関係づくりを積極的に推進している。

4. 円滑な就労へとつなげる取組

生徒の様子を実際に見てもらうことで、円滑に就労へとつなげるために、地域の企業を学校へ招聘する「企業対象学校見学会」を実施している。

【ホームページ】 <https://www.mie-c.ed.jp/smatus/>